

大学授業アンケート結果公表

「学生が選ぶグッドプラクティス」

2022年度秋学期14科目が決定

7月6日から31日、大トと位置付けて、2022年度秋学期の終わりに2号館1階に展示された。これは、ファカルティ・ディベロップメント（FD）委員会が、上智の未来をつくるアンケート結果は、個々の教員による授業改善や授業運営の点検に加え、集計分析を行い大学全体の教育の質の向上に役立てていく。また、このアンケート結果から、2022年度秋学期「学生が選ぶグッドプラクティス」が決定した。グッドプラクティスとは、学生からの評価が高かった科目を表彰する制度。2021年度以前は全学共通科



大学授業アンケート結果展示中

2022年度秋学期大学授業アンケート結果による「学生が選ぶ Good Practice」14科目 ※「連続受賞」…2022年度春学期の受賞科目を担当した教員 【受講者10名～30名】

Table with 3 columns: 開講所属, 科目, 担当教員. It lists 14 'Good Practice' courses across various departments and their respective instructors.

2022年度秋学期

「学生が選ぶグッドプラクティス」受賞

総合人間科学部社会学科 教授 田淵六郎



「学生が選ぶグッドプラクティス」が特徴で、社会学科の学生はディスカッションに積極的に行っていること、感謝の気持ちを伝えることが、授業に熱心に参加していること、私にも貴重な学びを授けてくれたこと、その理解を深めたい、修者の皆さんにお礼申し上げます。

選考方法は科目を受講者数の規模ごとに4つに区分し、その中で学生の評価が高かった上位約1%を選出。その結果、左表の14科目が表彰されることとなった。 受賞者を代表して、田淵六郎総合人間科学部社会学科教授に寄稿してもらった。

国際的な活躍を期待 女性研究者グローバル育成奨励賞

推薦を受けた3人が受賞

6月19日、2023年度女性研究者グローバル育成奨励賞の授与式が、上智学院ダイバーシティ推進室により行われた。本学は、09年に文部科学省の女性研究者支援モデル育成事業に採択され、「グローバル社会に



授与式は、指導教員などが見守る中、睦道佳明学長が受賞者一人ひとりに賞状を手渡し、「今回の受賞を自信と誇りにし、女性研究者という枠にとらわれず、研究者、技術者、開発者の道を切り拓いてほしい。また、活躍するその姿を我々教員や後輩たちに伝えてほしい」と激励した。

7月17日、2号館国際会議場で、ソフィア会課を激励した。ソフィア会は上智大学の同窓会組織で、本贈呈式では課外活動の各代表者約60人に対して支援金が贈られた。



高田さんは「このような支援を頂いているおかげで、私たちは存分に活動を行うことができている。ご期待に応えられる活躍ができるよう、精進してまいります」と決意を新たにされた。

対応する女性研究者支援「プロジェクト」を実施。事業終了後の12年に本奨励賞を創設した。理工学研究科の女子学生を対象に、国際的に活躍する女性研究者への支援を目的としており、海外の研究者と切磋琢磨し、大きく飛躍することが期待されている。

授与式は、指導教員などが見守る中、睦道佳明学長が受賞者一人ひとりに賞状を手渡し、「今回の受賞を自信と誇りにし、女性研究者という枠にとらわれず、研究者、技術者、開発者の道を切り拓いてほしい。また、活躍するその姿を我々教員や後輩たちに伝えてほしい」と激励した。

また、錦織さんは「支援金は、10月に開催予定の音楽祭に活用させていただきます。来場者、出演者、そして運営者全員が楽しめるよう、尽力したいと思っております」と抱負を語った。

会本部常任委員会委員長の高田辰弥さん（理機4）と、音楽協議会本部の錦織光由さん（法法3）が代表学生として謝辞を述べた。

IRデータから見る学修成果と教育プログラムの質保証

7月15日、2号館国際会議場で、本学と関西学院大学との共催によるシンポジウム「大学の学びの成長と質保証」が開催された。IRデータから見る学修成果と教育プログラムの質保証（Institutional Research）に関するデータを活用して、学修成果の獲得状況に関する分析に取り組んできた。

長、小野宏総合企画部長、藤田望同IR担当がパネリストとして登壇。コメントは山田教授、ファシリテーターは本学の池田真学事センター長が務めた。

議論では、教員マネジメントに教員の参画を促進する方法として、担当科目とディプロマポリシー（学位授与の方針）を結びつける施策について議論が繰り広げられた。

また、錦織さんは「支援金は、10月に開催予定の音楽祭に活用させていただきます。来場者、出演者、そして運営者全員が楽しめるよう、尽力したいと思っております」と抱負を語った。



学生の成長に資するIRについて議論を深める